



I 第22週の発生動向 (2025/5/26~2025/6/1)

- 水痘については、三戸+八戸市保健所管内で**警報**が継続しています。一方、東津軽+青森市保健所管内及び上北保健所管内の警報は**解除**となりました。
- 伝染性紅斑については、三戸+八戸市保健所管内及び西北保健所管内で**警報**が継続しています。
- 百日咳については、中南保健所管内及び三戸+八戸市保健所管内の報告数が多くなっています。手洗い等の基本的な感染対策の徹底をお願いします。

※現在、国及び国立健康危機管理研究機構が警報・注意報の基準値について確認を進めているところですが、県の週報に記載する発生動向では、当面の間、従前の基準値を用いて注意喚起を行います。

II 第22週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

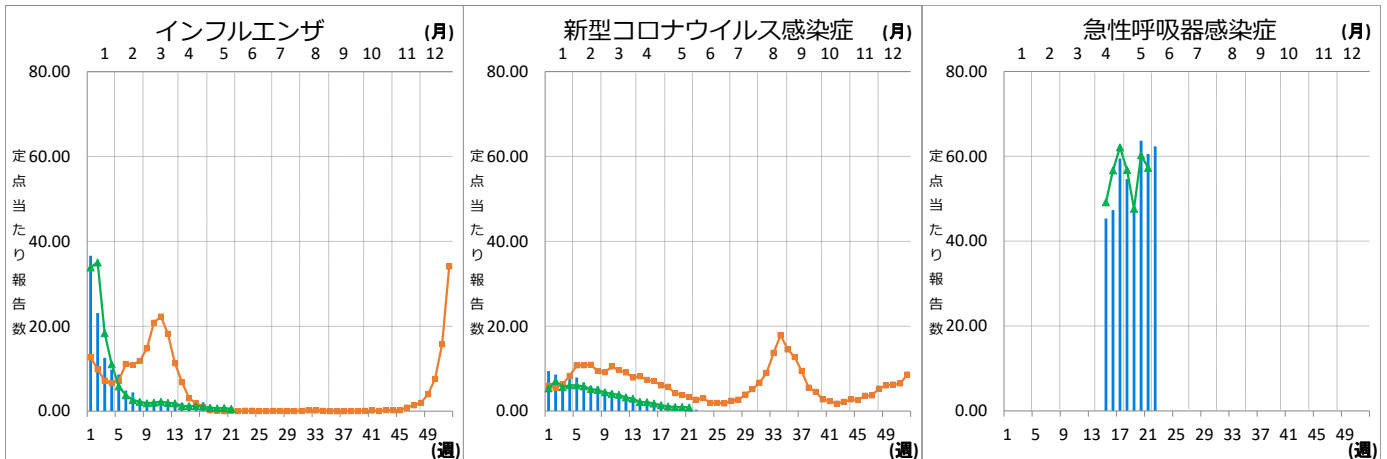
青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警報、は注意報。「空欄」：患者報告無し。

		東青 (東津軽+ 青森市保健所)		中南 (中南保健所)		三八 (三戸+ 八戸市保健所)		西北 (西北保健所)		上北 (上北保健所)		下北 (下北保健所)		青森県計		前週 からの 増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
急性 呼吸器 感染症	インフルエンザ	3	0.27	1	0.10	12	1.20	5	0.83	10	1.11	2	0.33	33	0.63	-19
	新型コロナウイルス感染症	2	0.18	4	0.40	2	0.20	1	0.17	6	0.67	2	0.33	17	0.33	-13
	急性呼吸器感染症	1073	97.55	412	41.20	588	58.80	290	48.33	440	48.89	438	73.00	3241	62.33	93
小児科	RSウイルス感染症	1	0.17			1	0.14	4	0.80	1	0.17	2	0.50	9	0.26	-1
	咽頭結膜熱	5	0.83	2	0.33	8	1.14	2	0.40					17	0.50	11
	A群溶血性レンガ球菌咽頭炎	1	0.17	6	1.00	23	3.29	11	2.20	2	0.33	4	1.00	47	1.38	18
	感染性胃腸炎	21	3.50	17	2.83	48	6.86	21	4.20	7	1.17	1	0.25	115	3.38	-2
	水痘	5	0.83	3	0.50	13	1.86			4	0.67			25	0.74	-8
	手足口病					1	0.14							1	0.03	0
	伝染性紅斑	2	0.33	4	0.67	30	4.29	5	1.00	4	0.67			45	1.32	5
	突発性発しん	7	1.17	2	0.33	9	1.29	1	0.20					19	0.56	5
	ヘルパンギーナ															0
	流行性耳下腺炎	1	0.17	1	0.17	1	0.14					1	0.25	4	0.12	2
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎															-3
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎	1	1.00									9	9.00	10	1.67	0
	無菌性髄膜炎															0

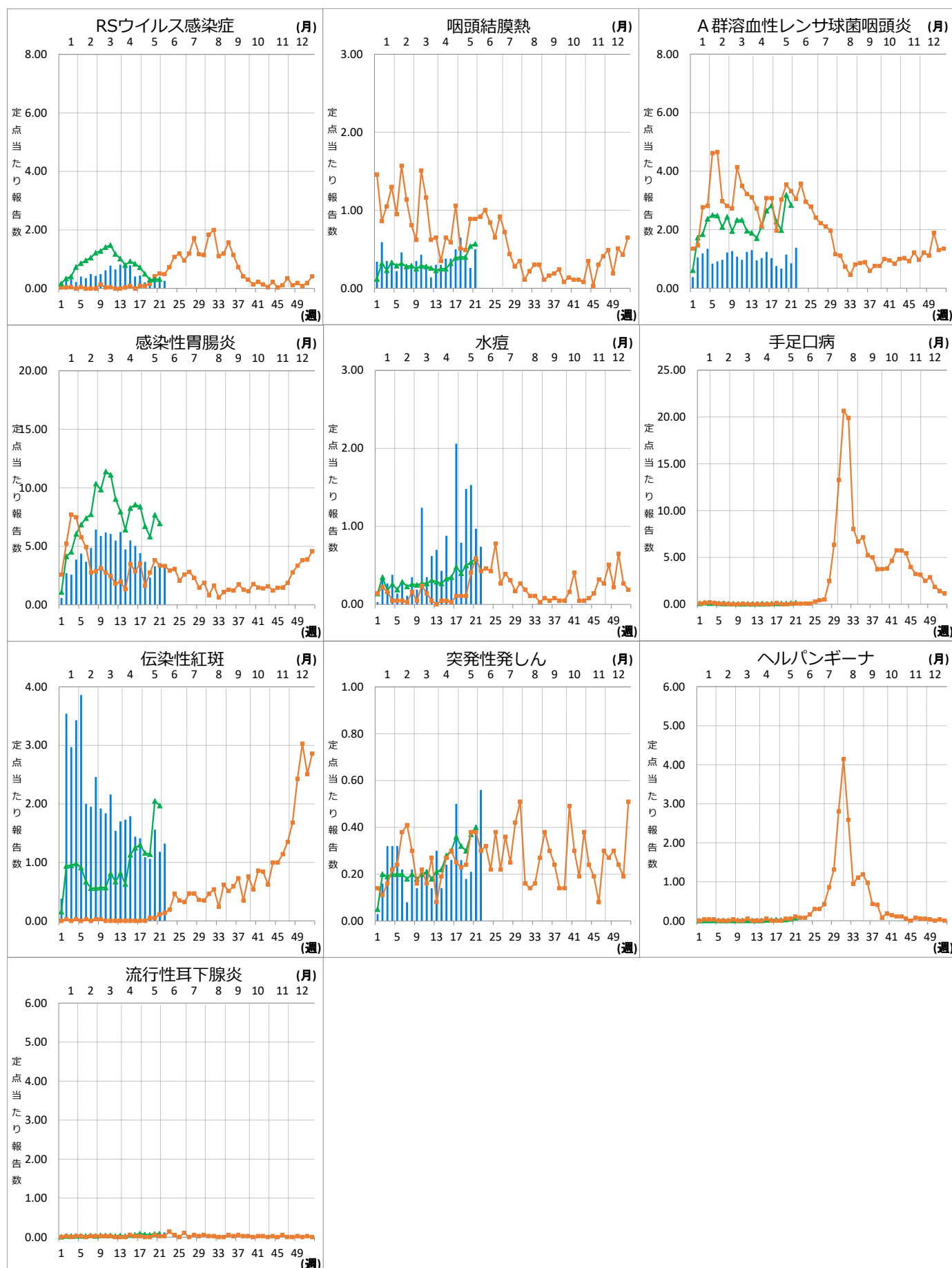
III 定点把握対象疾患週別推移 (急性呼吸器感染症定点) (2025年第22週、ただし全国は前週)

グラフの説明 — は2025年青森県、■ — ■は2024年青森県、▲ — ▲は2025年全国

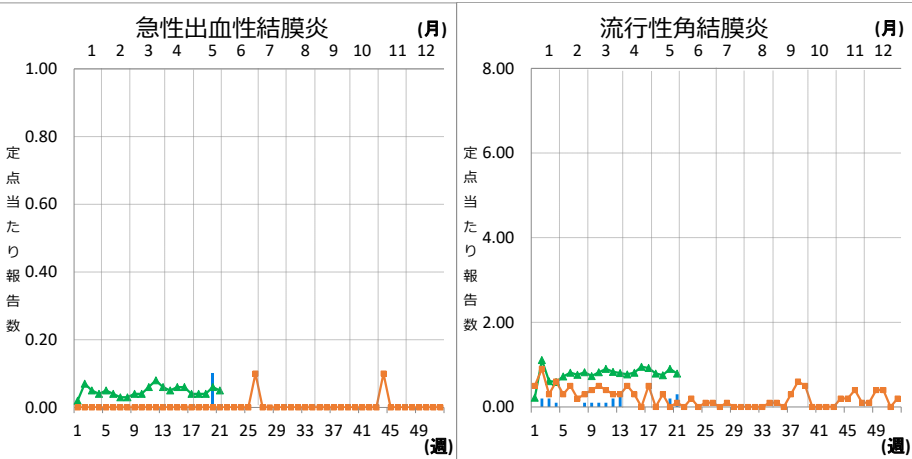


Ⅳ 定点把握対象疾患週別推移（小児科定点）（2025 年第 22 週、ただし全国は前週）

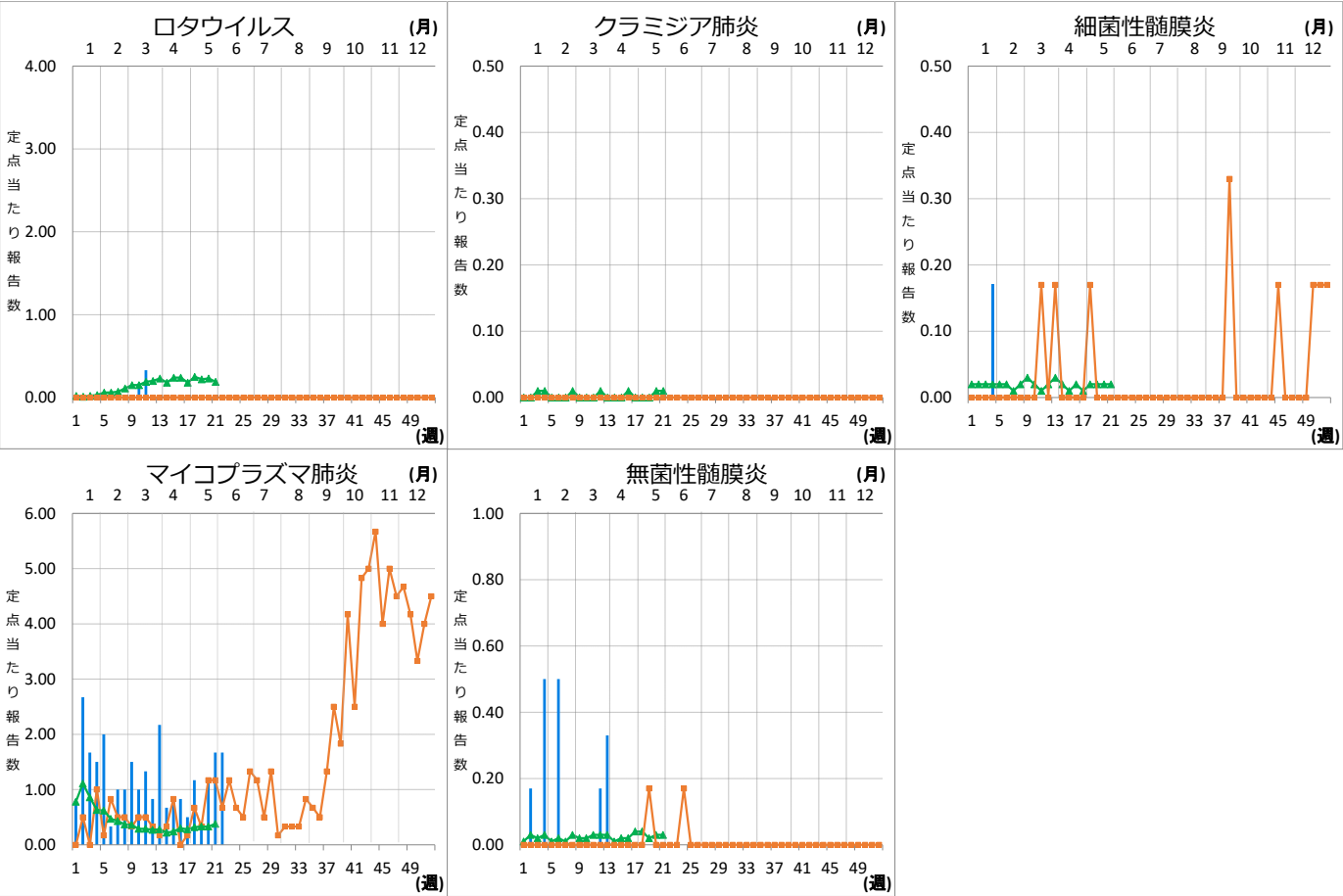
グラフの説明   は 2025 年青森県、 は 2024 年青森県、 は 2025 年全国



V 定点把握対象疾患週別推移（眼科定点）（2025 年第 22 週、ただし全国は前週）
 グラフの説明👉**——は 2025 年青森県、■——■は 2024 年青森県、▲——▲は 2025 年全国**



VI 定点把握対象疾患週別推移（基幹定点）（2025 年第 22 週、ただし全国は前週）
 グラフの説明👉**——は 2025 年青森県、■——■は 2024 年青森県、▲——▲は 2025 年全国**



Ⅶ 急性呼吸器感染症(ARI)病原体検出情報

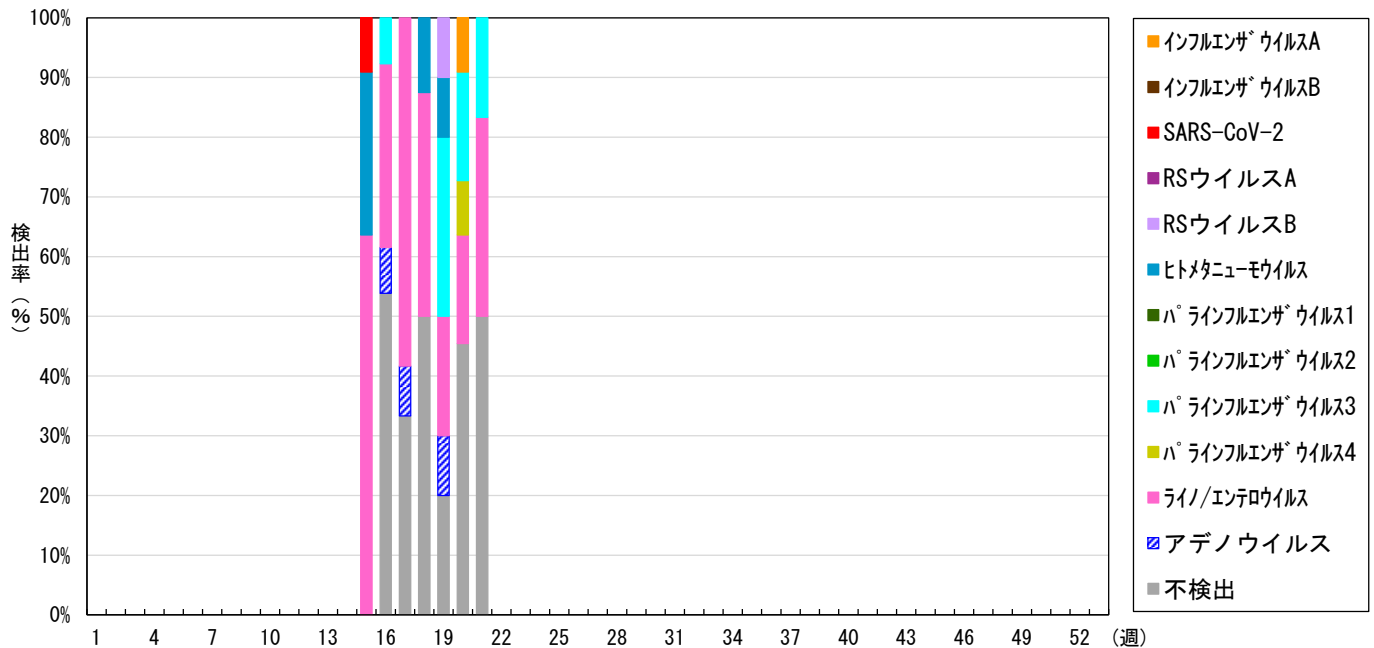
(1) 急性呼吸器感染症病原体定点からの提出検体数及び結果判明分 (2025 年第 15～22 週)

急性呼吸器感染症	2025年							
	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週
提出検体数	11	12	12	8	9	11	8	6
インフルエンザウイルスA	0	0	0	0	0	1	0	
インフルエンザウイルスB	0	0	0	0	0	0	0	
SARS-CoV-2	1	0	0	0	0	0	0	
RSウイルスA	0	0	0	0	0	0	0	
RSウイルスB	0	0	0	0	1	0	0	
ヒトメタニューモウイルス	3	0	0	1	1	0	0	
パラインフルエンザウイルス1	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス2	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス3	0	1	0	0	3	2	1	
パラインフルエンザウイルス4	0	0	0	0	0	1	0	
ライノ/エンテロウイルス	7	4	7	3	2	2	2	
アデノウイルス	0	1	1	0	1	0	0	
不検出	0	7	4	4	2	5	3	
検査待ち	0	0	0	0	0	0	2	6

※第16週に提出された検体のうち、1検体からライノ/エンテロウイルスとアデノウイルスが検出されました。

※第19週に提出された検体のうち、1検体からライノ/エンテロウイルスとアデノウイルスが検出されました。

(2) 検出された病原体の週別推移 (2025 年第 15 週～)



Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況（第 22 週）

- ・結核（二類感染症）：東津軽 1 人、青森市 2 人、三戸 1 人（2025 年計： 46 人）
- ・梅毒（五類感染症）：青森市 1 人（2025 年計： 9 人）
- ・百日咳（五類感染症）：中南 10 人、八戸市 6 人（2025 年計： 382 人）

Ⅸ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2025 年第 19 週～2025 年第 22 週）

週	東青 （東津軽保健所+ 青森市保健所）	中南 （中南保健所）	三八 （三戸保健所+ 八戸市保健所）	西北 （西北保健所）	上北 （上北保健所）	下北 （下北保健所）
19	結核1人 つつが虫病1人 百日咳2人	結核1人 百日咳9人	百日咳19人	百日咳1人	つつが虫病1人 百日咳1人	百日咳2人
20	百日咳2人	結核1人 劇症型溶血性レ ンサ球菌感染症 1人 百日咳15人	つつが虫病1人 アメーバ赤痢1人 百日咳14人	百日咳1人	百日咳1人	日本紅斑熱1人 百日咳3人
21	結核1人 つつが虫病2人	侵襲性肺炎球菌 感染症1人 百日咳11人	結核1人 百日咳22人 つつが虫病1人	結核1人 百日咳3人	百日咳1人	百日咳1人
22	結核3人 梅毒1人	百日咳10人	結核1人 百日咳6人			

第 21 週に青森市保健所管内及び八戸市保健所管内で、つつが虫病的届出がそれぞれ 1 人ありましたので追加しました。

X 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2025 年第 1 週～第 21 週までの累計）										
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	エムボックス
累積報告数	5137	3	23	587	9	3	230	59	9	1
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	オウム病	回帰熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ボツリヌス症	マラリア
累積報告数	4	2	1	44	6	68	57	111	1	8
分類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	687	2	190	88	600	10	253	9	66	663
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症
累積報告数	313	13	338	38	1946	242	5392	68	26	38
分類	五類	五類	五類	五類						
疾病名	百日咳	風しん	麻疹	薬剤耐性アシネトバクター感染症						
累積報告数	22351	7	130	4						

青森県（2025 年第 1 週～第 22 週までの累計）

分類	二類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	つつが虫病	日本紅斑熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	46	5	7	1	4	1	6	1	1	5
分類	五類	五類	五類	五類	五類					
疾病名	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	百日咳					
累積報告数	1	3	11	9	382					

XI 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日報告はありませんでした。

Ⅺ 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2025 年第 22 週
報告はありませんでした。

2025 年報告件数及び発症者数

月(週)		1月	2月	3月	4月	5月					6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
施設種別		1-5週	6-9週	10-13週	14-17週	18週	19週	20週	21週	22週	23-26週	27-31週	32-35週	36-39週	40-44週	45-48週	49-52週	(施設別)
介護・老人福祉関係施設	件数	1	4	4	4	1	0	0	0	0								14
	発症者数	7	70	69	78	11	0	0	0	0								235
児童・婦人関係施設等	件数	4	10	8	7	0	0	1	0	0								30
	発症者数	74	228	136	128	0	0	25	0	0								591
障がい関係施設	件数	0	2	2	1	1	0	0	0	0								6
	発症者数	0	37	25	10	5	0	0	0	0								77
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0								0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0								0
計(月別)	件数	5	16	14	12	3												50
	発症者数	81	335	230	216	41												

感染症の窓

日本紅斑熱は、日本紅斑熱リケッチアによる感染症です。頭痛、全身倦怠感、高熱などを伴って発症し、高熱とほぼ同時に紅色の発疹（斑丘疹）が手足から体幹に広がります。「発熱」、「発疹」、「刺し口」を主要三兆候とする点は、つつが虫病と似ていますが、臨床的な鑑別は困難です。

全国における過去 10 年間の累積報告数の推移は図のとおりです。全国における累積報告数は、年々増加しており、2024 年は速報値ではありますが、2015 年の 2 倍以上となっています。発生地域は、西日本が中心ですが、近年ではその他の地域にも拡大しているのではないかとわれています。青森県では、2007 年に 1 件の届出があり以降の届出はありませんでしたが、2024 年は 2 件の届出がありました。このため、県内でも日本紅斑熱に罹患する可能性がありますので、注意が必要です。

本感染症は病原体を保有するダニに刺されることで感染しますので、農作業等でダニの発生しやすい場所に立ち入るときは以下の対策をとるようにしましょう。

- (1) 長袖、長ズボンを着用し、肌の露出を避ける。
- (2) ダニ忌避剤を使用する。
- (3) 作業後は早めに入浴するとともに、ダニの付着を確認し、ダニに咬まれたときは、無理に自分で取り除こうとせず、医療機関を受診する。

○詳しい情報はこちらをご覧ください。👉 [日本紅斑熱について\(厚生労働省 HP\)](#)

日本紅斑熱

